



年頭のご挨拶

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は、議会運営や議会活動に対し、温かいご支援ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年まで、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や縮小を余儀なくされてきたスポーツ大会や文化イベント等が徐々に再開され、各団体や市民の皆様と直接お会いできる機会が増えてまいりました。ポストコロナ時代への歩みを進める中、関係者の皆様のご尽力により、感染対策をしながら少しずつ交流の輪が広がっていることを大変うれしく思います。

一方で、社会情勢を見ますとロシアによるウクライナ侵攻が原油や物価の高騰に拍車をかけ、社会不安や厳しい生活状況をもたらしました。このような時代だからこそ、安全で安心して暮らすことができるまちづくりの推進や、子育て・教育環境、市民福祉の充実など、行政が果たす役割はより重要性を増しています。市議会といたしましても、市民の皆様の負託に応え、課題解決に尽力し、議会の役割を全うする覚悟でございます。

また、市議会では、令和4年12月定例会において「大和市ハラスメント防止条例」を制定いたしました。この条例は、「前副市長辞職等に関する調査特別委員会」が検討を重ね条例案を作成したものです。ハラスメントを重大な人権侵害行為と規定し、議員や市長等の特別職、職員のほか、市と業務委託契約している事業に従事するかたなどを適用の対象と定めており、身分、職位および職責にかかわらず、互いに信頼し、人権を尊重することで、それぞれの能力を発揮することができる良好な職場環境を確立することを目的としています。今後も市職員の職場環境改善による市民サービスの向上に努めるとともに、議員も市民の皆様の期待を裏切ることがないように、気を引き締めて行動してまいります。

市民の皆様におかれましては、どうか本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は年始から全国的にオミクロン株による感染が拡大し、その後も新型コロナウイルスとの共生を模索する一年となりました。そのような中、2月にはロシアがウクライナへの侵攻を開始。明るい兆しを見せ始めた世界経済に、甚大な被害をもたらしました。日本においても、さまざまな物の価格が高騰し、その影響は当然ながら本市にも及んでいます。市では、市民生活を守るため、市内の事業者や子育て世帯に対し、独自の給付金を支給するなどの対策を実施いたしました。

一方で、大和市には大変うれしい知らせが舞い込みました。令和3年の大和市の人口増加数が全国1,700を超える日本の全自治体の中で8番目に多かったとのこと。これを聞いた市民の皆様は、喜んだというよりも驚いたというかたが多かったかもしれません。

本市は「子育て王国 大和市」を掲げ、昨年も7年連続での保育所待機児童数ゼロを達成しています。さらに、不登校特例校分教室の開室や、全市立小・中学校にオンライン学習教材を導入するなど、さまざまな子育て施策を時代の流れを見ながらスピード感をもって実施してきました。これまで一つ一つ施策を積み重ねてきた成果が人口増加となって表れたものであれば、大変うれしく感じています。

また、大和市はかねてから「図書館城下町」として全国的にも先進的な図書館行政を展開しています。私は公務で全国各地のかたと交流する機会がありますが、最近では折に触れて「日本一の図書館があるまちですね」と言われるようになりました。

市では昨年、「おひとりさま支援条例」と「こもりびと支援条例」を制定しました。また11月1日を「歴史の日」に決めました。いずれも全国初となる取り組みで、多くのかたにとって新たな大和市の印象となるかもしれません。

今年も「健康都市」の実現を目指し、24万人の市民の皆様のため、全身全霊を注いでまいりますので、よろしく願い申し上げます。

大和市議会議長 **中村 一夫**

大和市長 **大木 哲**